

IHI

パーキングサービスガイド



NO.37／平成20年9月発行

機械式駐車装置を 安全にご使用いただるために！

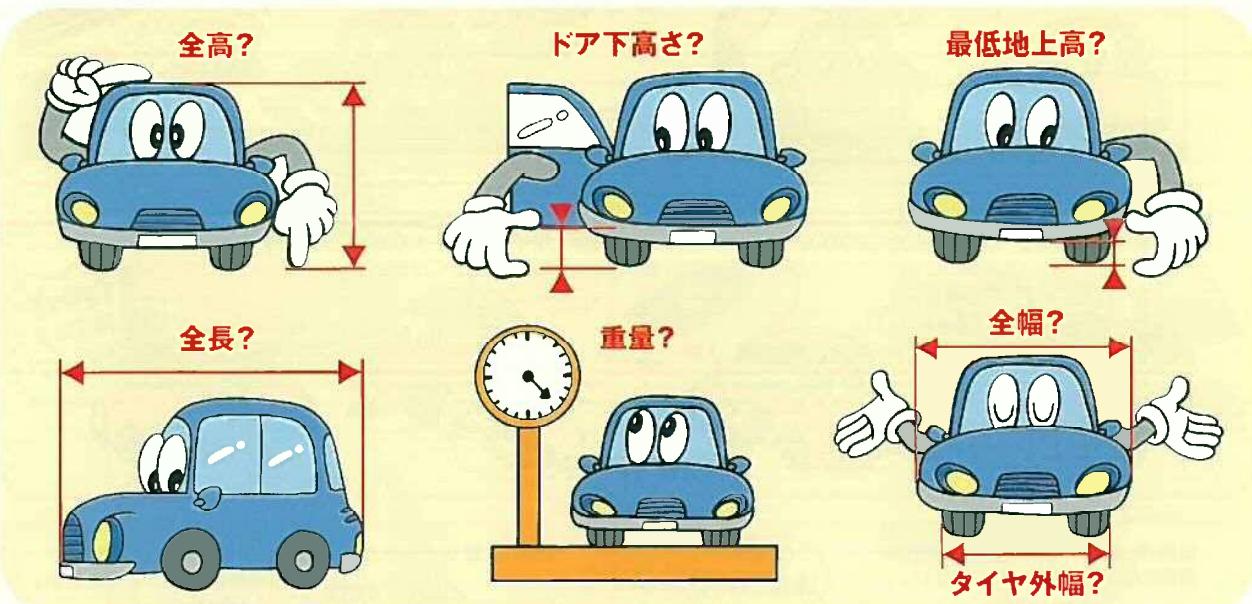
～トラブル事例と入出庫時の注意事項について～

はじめに

機械式駐車装置は人と車の安全を第一に設計されておりますが、操作する人やご利用者自身にも安全のためにお守りいただくべき注意事項がございます。しかしながら、これらが守られず事故に至るケースが後を絶ちません。これらの事故は最悪の場合、人身事故につながることもありますので特に注意が必要です。また、近年は入庫する自動車のスタイリングも多様化しており、エアロパーツ装着車やドレスアップした車におけるトラブルも増えております。本ガイドでは機械式駐車装置のご利用に当たっての注意事項と最近のトラブル事例を取りまとめました。是非ご一読いただき、安全で快適な駐車場のご利用にお役立てください。

入庫できる車の確認を！

制限寸法・制限重量を超えた車を入庫させないでください。
車が破損したり、駐車装置の故障原因となります。

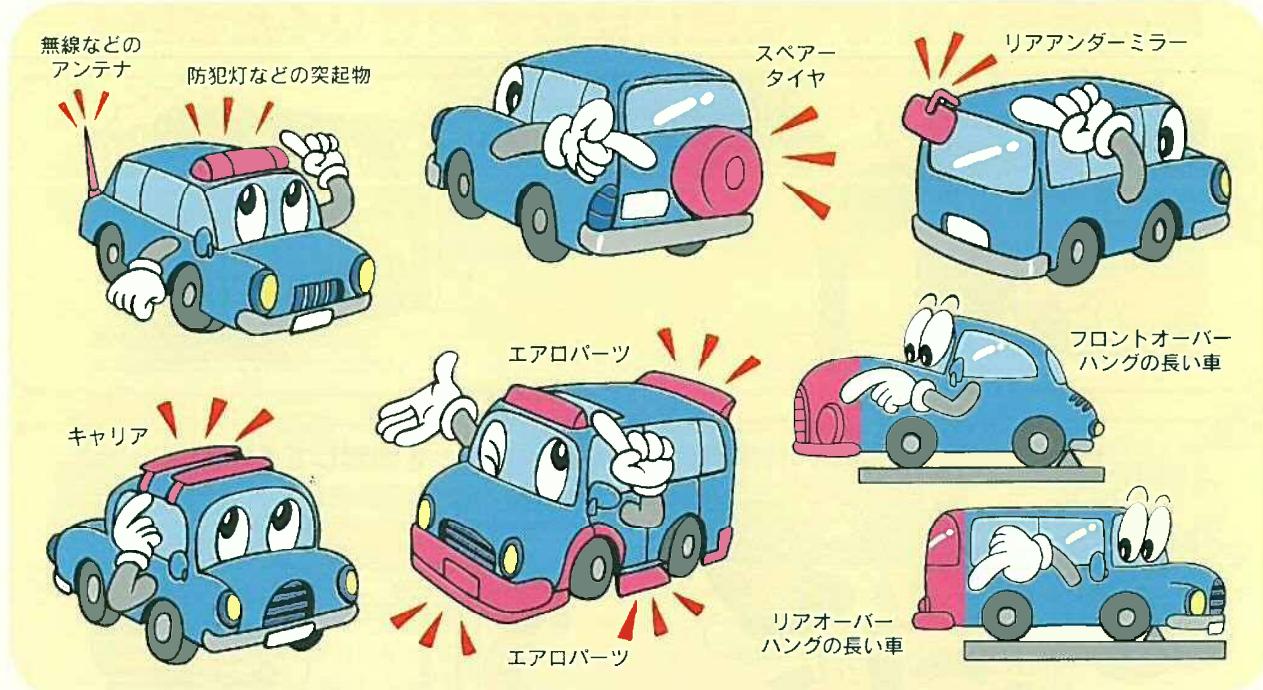


⚠ 新規入庫車両や車の買い替えの際には、特に上記の寸法を確認してください。

上記の寸法が制限寸法内でも入庫できないおそれのある車があります。詳しくは裏面へ

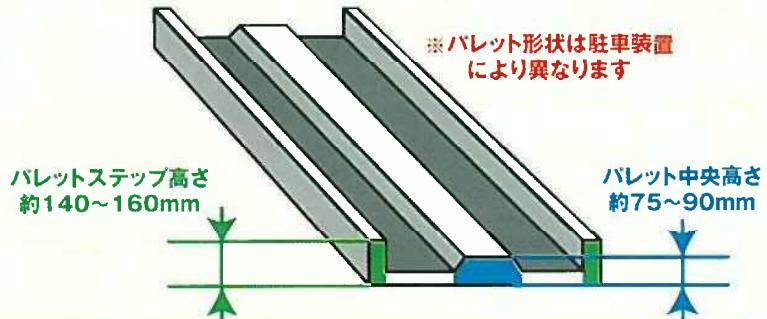


! 以下のような車は車体寸法が入庫可能寸法内であっても入庫できない可能性がありますので、確認が必要です。



●最近のトラブル事例●

機械式駐車装置のパレットは、駐車装置の機種や納入された年代等により形状に違いがありますが、概ね左右の両サイドと中央部が立ち上がった凹凸形状となっています。



それに対し

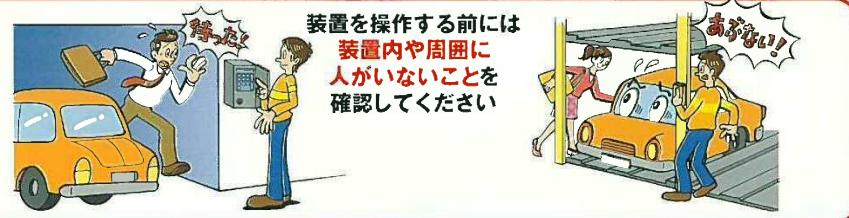
近年の乗用車は、最低地上高の低い車やタイヤ幅の広い車、エアロパーツ装着車が増えており、各自動車販売店からオプションとしてエアロパーツが用意されていたり、多種多様のパーツが販売されています。

それに伴い、近年エアロパーツ装着車やローダウン車において、運転席ドアの下部がパレットステップに干渉したり、車のフロント下面やマフラー部がパレット中央部に干渉する事例が発生しておりますので、新規入庫車両や車の買い替えの際には、入庫できる車の寸法を確認してください。



危 険

駐車装置を利用する際には必ずお守りください！



装置を操作する前には
装置内や周囲に
人がいないことを
確認してください。



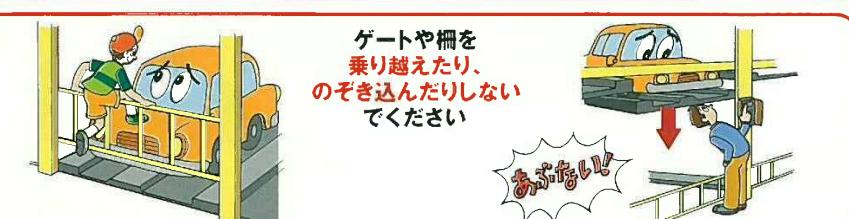
子供やペットが自動車内に取り残されていないことを確認してください



出庫の際や機械動作中は、
周囲に人がいないか
注意してください。
特に小さな子供には
十分注意して
ください



装置内に鍵や携帯など落し物をしても
絶対に自分で拾いに入らないでください



ゲートや柵を
乗り越えたり、
のぞき込んだりしない
でください

入・出庫時における注意事項

規定外の車は入庫できません。



荷物の積み下ろしは駐車装置の外で行ってください。



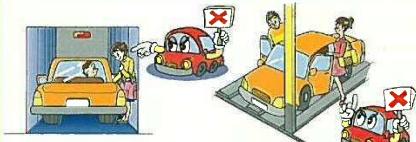
機械運転中の待ち時間の間は、
エンジンを切ってお待ちください。



装置・扉・ゲートが完全に定位位置に停止してから、
駐車装置内にお入りください。



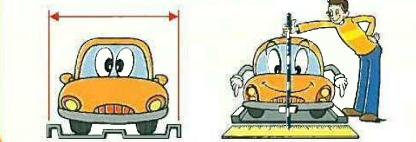
ドライバー以外は駐車装置内に入ってはいけません。



最徐行運転で入・出庫を行ってください。



入庫車はパレット幅からはみ出さず、
パレットの中央に止めてください。



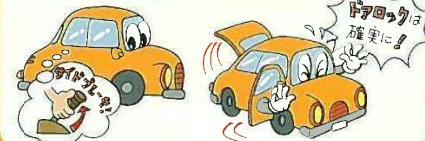
タイヤは所定の位置に収容してください。



アンテナやドアミラーをたたんでください。



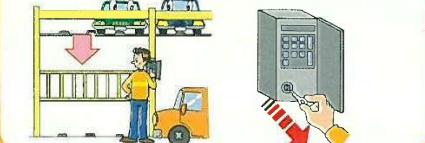
サイドブレーキをかけ、全てのドアを確実に閉めて
ロックしてください。



出庫後、自動車を道路に出す前に
周囲の安全を確認してください。



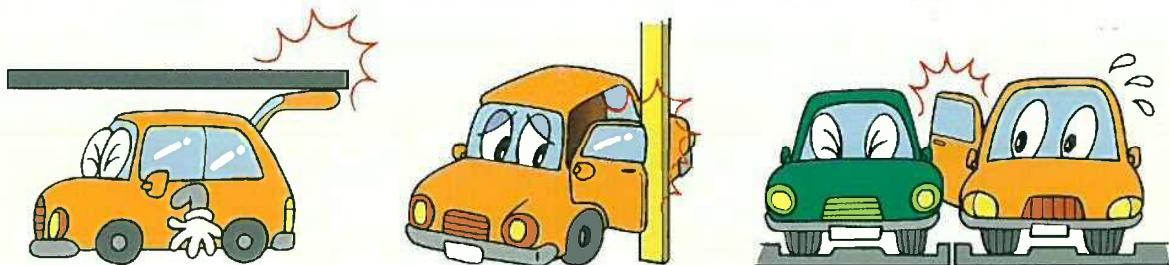
安全を
確認してから
キーを抜取ってください。



いずれも一步間違えば 死亡等の重大な事故につながります ので、必ずお守りください

駐車装置のご使用におけるトラブル事例

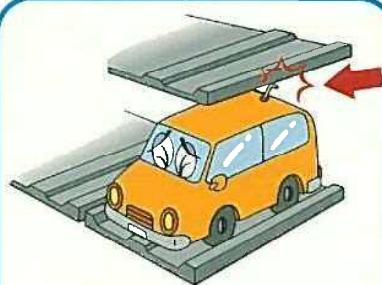
ハッチバックやトランク・ドアの閉め忘れにより収容スペース外にはみ出し、駐車装置と接触



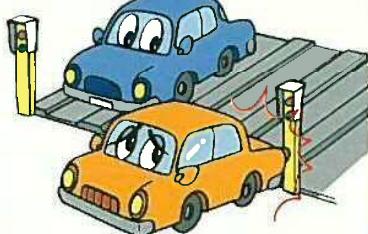
ドアミラーのたたみ忘れにより駐車装置と接触



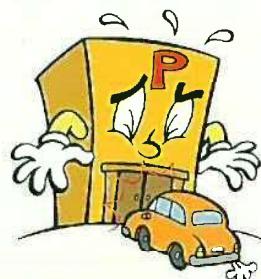
アンテナを下げる忘れ、駐車装置と接触



パレットに車を入庫する際に、操作スタンド等に接触



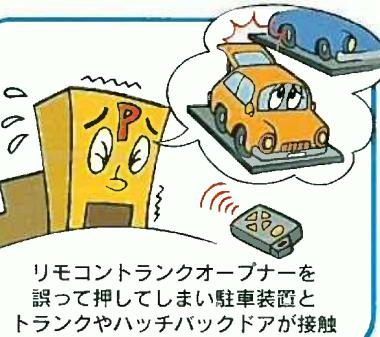
アクセルとブレーキを踏み間違えて、前面鏡や扉と接触



リヤスポイラー やリアアンダーミラーが収容スペース外にはみ出し、駐車装置と接触



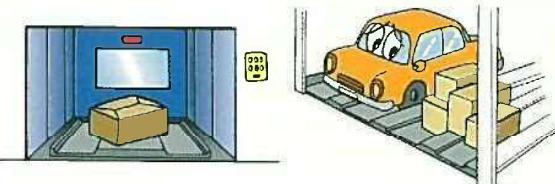
リモコンスタートを誤って押してしまい駐車装置内で車が暴走し衝突



パレットに車を収容した後に、リモコン等で車のスライドドアを開けてしまい、駐車装置の安全柵等と接触



お願い



車以外の物を置かないでください。
物が落下、転倒して、装置の破損、誤作動、故障の原因となります

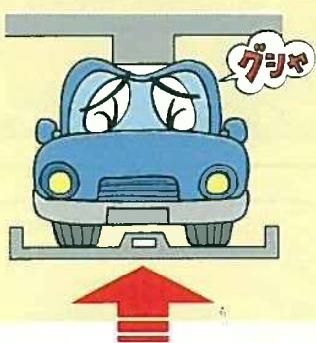


車のボディカバーを使用しないでください。外れた場合に装置作動時の障害物となり、誤作動・故障の原因となります

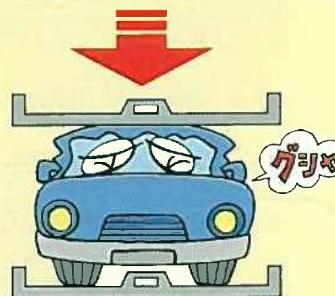
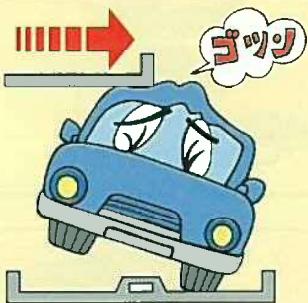
発生頻度の高いトラブル事例

当社の統計によると、発生頻度の一番高いトラブルは二多段式駐車装置において普通車用のパレットに誤ってハイルーフ車を入庫してしまい高さオーバーにより天井や駐車装置と接触するトラブルが全国のどこかで、ほぼ毎日発生しております。

パレットが上昇し、建物の天井と接触

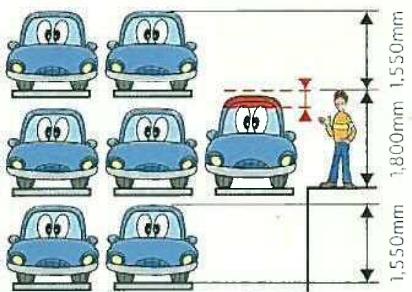


他のパレットを呼び、駐車装置と接触

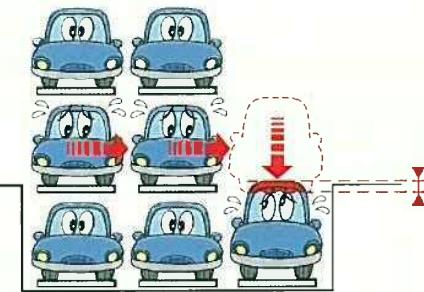


二多段式駐車装置の構造と動きについて

※下図は入庫制限高さ1550mmの場合を表します。



入庫場所の高さスペースは、運転手の出入の際の安全確保のため、1800mmあります。しかし、入庫車の高さには決められた制限高さがあります。



制限高さをオーバーした車を入庫すると、格納場所への移動時に他のパレットと干渉し、車や機械を損傷する原因となります。

機械を操作する前に今一度ご自分のパレットかを確認してください。

また車検や修理等による代車利用時や来客者の車を駐車する際のトラブルも発生していますので、いつもと違う車を入庫される場合は特にご注意ください。

■パーキングサービスガイドについて

このIHIパーキングサービスガイドは装置の保全、装置内における人および自動車の安全確保に不可欠な保守・取り扱い管理についてご案内するシリーズです。IHIパーキングについては何なりと、当社サービス技術員にご相談ください。



●本社 〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー (03)5550-5384

●サービスセンター

最新のサービスセンターの連絡先は、パーキングシステムサービス拠点のサービスセンタ連絡先をご参照ください。

<http://www.iuk.co.jp/parking/offices.html>